

宇宙コスミレの育て方

宇宙スマレは日本に自生するコスミレを約 8 ヶ月間宇宙環境に滞在させて帰還した種子から栽培された株です。

播種・栽培および採種の際にはそれぞれの個体番号等をかならず記録しておく必要があります。

このコスミレ *V. japonica* Langsd. はスマレの中でも栽培が容易な種類です。栽培上の注意点を以下に記載します。



播種時の注意



・採種後まもない種子を蒔く場合

培養土に播種し灌水後約 1 週間から 10 日ほどで発芽します (この状態ではおそらく 90% 以上の発芽率)。

・採種後 1 ヶ月以上経た種子を蒔く場合

種子の表面が乾燥していますので、十分な吸水を促すために水を入れたシャーレや皿などに一晩ほど浸し、播種します。

※種子にカビが生えると発芽しませんから、フタなどはしないようにします。

・採種後数ヶ月以上あるいは冷蔵保存した種子を蒔く場合

この場合種子が休眠している可能性があります。上記のように吸水とともに、太陽光を当て刺激を与えてから播種します。

※一度休眠した種子は発芽にかなり時間が掛かる場合があります。

栽培

コスミレは日当たりの良い環境を好みますので、発芽した後は日当たりの良い場所で栽培します。とても丈夫な種類ですが、双葉から本葉が数枚の時期には、根腐れをしない程度にあまり水を切らさないように注意して栽培します。

発芽から 1 週間くらいあるいは本葉が展開し始めたら個々に植え替えをします (播種時の様子がわかりませんのでここはとりあえずこのように記載します)。

播種から 1〜2 ヶ月で最初の閉鎖花が出てきます。

採種

種子が熟すとはじけ飛びます。種子が飛ぶと、どの系統の株からの種子が分か

らなくなりますから、閉鎖花がふくらみ始めたらテープなどを巻いてはじけないようにします。メンディングテープを使うと種子の回収がしやすく、直接鉛筆などで記入もできます。(また写真をお送りします)。

注意点

丈夫なスマレですが、**そうか病**には注意してください。接触で感染しますので近くに病気のある個体を置かない様に気をつけます。また感染した個体は処分した方がよいでしょう。

日当たりの良い場所で栽培します。根腐れするとすぐに枯死しますので、水はけのよい土で栽培します。冬場などの管理は特に根腐れに注意が必要です。



そうか病 (そうかびょう：瘡痂病) は**子囊菌**や**細菌**などの感染によって起こる複数種の**植物病害**の便宜的な総称。瘡は「かさ・きず」、痂は「かさぶた」と訓み、瘡痂もかさぶたの意で、いずれの病気も罹病部にかさぶた状の病斑を生じることに由来する。

